

くおんだより 9月 No.1



暦の上では秋ですが、続く暑さ。それにコロナ、また嘔吐下痢の方も子どもにとっては、きつく大変なことばかり。大人が充分注意してあげましょう。

朝夕、あ！涼しいと感じる時や、ひぐらしやつくづくぼうし（鳥）の声を聞くと季節の変わり目を感じます。が、日中、園でのコロナ対策、暑さ対策、体調の見守り等は、しっかりと生活していかなければなりません。

### 9月の行事



● 19日 敬老の日(祝日)

おじいちゃんおばあちゃんありがとう会を10月22日(土)に予定しています。

● 22日 誕生会

コロナがちょっと落ちつくまで、各クラスで誕生会を行います。楽しい会をクラスで考えます。

● 23日 お彼岸・秋分の日(祝日)

● 御命日

○ 9月の土曜希望1日保育は、3・10日です。

これ以外でもお仕事が忙しい方、担任に言われてください。



「にじ」のうたごえが園に流れます。



また、おねえちゃんたち、また！



熊本防災看護専門学校の園実習が8月30日より再開いたしました。(夏休みでした。残りの実習1/10まで)

「自然な子どもの姿が見れるから」と園実習をお原真いされもう25年をすぎました。(その前は、市内12・3園の保育園に分けて行かれてました。)こうして選んでもらい実習しに来られているのですが、うちでいいのかと問うてきました。「自然な子どもの姿...」「子どもに自分の思いで〇〇させているの全部だだからね」と昔、いつもお話を聞かせてもらう先生に言われました。ご命日に本堂でみんなでお参りしても「とも」にはなれないよね。と思います。いん教用語では、自然をじねんと呼びます。日本の幼児教育の根っ子のひとり、倉橋惣三氏の本の中に「園の一字は」という詩があります。出会った時すごく感動しました。自分では自然(じねん)の詩(うた)と言います。子ども本来の姿を考え、自分の姿が見えてくる深い詩です。自然(じねん)という意味とかさなります。

園の一字は

野性でない自然がある  
温室でない培養がある  
放任でない自由がある  
抑圧でない管理があり  
強要でない期待がある

何という心持のあたたかさごと、  
やはらかさごと、  
うるおいたんが感じられるやさしさ

